

## とっとりさきゅう りょう 鳥取砂丘の利用

## とっとりさきゅう りょう 鳥取砂丘は、どのように利用されているのでしょうか。

とっとりさきゅう えどじだい ひさ ふせ まつ なえ  
鳥取砂丘では、江戸時代のころから飛砂を防ぐために、松の苗

ぎ しょくりん おこな こやま はまさか ひさ ぼうし  
木の植林が行われてきました。湖山や浜坂では、飛砂の防止に

せいこう ばしょ さきゅうち はたち りょう とりよく  
成功した場所から砂丘地を畑地に利用する努力がされてきました。

ふくべさきゅう みなみがわ しっち ゆやまいけ えどじだい  
福部砂丘の南側には湿地（湯山池）がありましたが、江戸時代

お はまさかさきゅう なんとうぶ たねがいけ みず ひ  
の終わりころに、浜坂砂丘の南東部にある多鯨ヶ池から水を引い

すな なが かんたく はたち すいでん か ふくべさきゅう  
て砂を流し、干拓して畑地や水田に変えられました。福部砂丘

は さきゅう てき さくもつ う げんざい  
は、砂丘に適した作物としてラッキョウが植えられ、現在では

にほんゆうすう せいさんち  
日本有数の生産地となっています。

はまさかさきゅう かんこうさきゅう はってん がっこう えんそく しゅくはくけんしゅう  
浜坂砂丘は、観光砂丘として発展してきました。また、学校の遠足や宿泊研修にも

かつよう さいねん たいかい  
活用されています。近年は、ウォーキング大会やパラグライダー、サンドボードなどのスポー

ツも行われています。



写真22 多鯨ヶ池  
鳥取砂丘の南側の山地に  
囲まれたかつての入り江が、  
砂丘の砂によってせき止めら  
れてきたと考えられてい  
る。水面は、海面よりも16m  
高く、平均の深さは17.3m  
で、中国地方でもっとも深  
い。



写真23 ラッキョウ畑  
ラッキョウの苗の植え付け



写真24 ラッキョウの苗の植え付け



写真25 サンドボード

## とっとりさきゅう 鳥取砂丘を守るために

## とっとりさきゅう まも 鳥取砂丘を守るために、どのような取り組みがされているの でしょうか。

とっとりさきゅう うらどめかいがん さんいんかいがん しょうわ ねん こくていこうえん してい しょうわ ねん こくりつこうえん しょうかく  
鳥取砂丘や浦富海岸をふくむ山陰海岸は、昭和30年に国定公園に指定され、昭和38年には国立公園に昇格し

ました。平成20年には山陰海岸国立公園をふくむ山陰海岸ジオパークが日本ジオ

パークに認められ、平成22年には世界ジオパークネットワークへの加盟が認められま

した。このように、世界の公園となった鳥取砂丘ですが、植林した松が成長し、

ひさ へ おお くさ そうげんか とっとりさきゅう すな うご ほんらい  
飛砂が減り多くの草がはえるようになりました。草原化した鳥取砂丘を、砂が動く本来

の砂丘にするために、松の伐採と除草が行われました。平成16年からは、市民によるボランティア除草も行われる

ようになり、現在もその活動は続いています。

とっとりけん せかい ほこ ちいき たから とっとりさきゅう まも そだ らくが はなび す  
鳥取県では、世界に誇る地域の宝である鳥取砂丘を守り育てていくために、落書きや花火、ゴミのポイ捨てなどを

禁止した「日本一の鳥取砂丘を守り育てる条例」を制定しました。そして、「鳥取砂丘レンジャー」とよばれる方々

が、砂丘の魅力や価値の解説や正しい利用のために活動しています。



写真26 ボランティア除草

【参考文献】 新・美しい自然公園13 山陰海岸国立公園 鳥取砂丘 1995、(財)自然公園美化管理財団  
砂丘を知ろう 鳥取砂丘検定公式テキストブック 2009、鳥取砂丘検定実行委員会  
山陰海岸国立公園パークガイド 鳥取砂丘 2010、(財)自然公園美化管理財団

【写真提供】 (財)自然公園美化管理財団 鳥取支部  
鳥取県立博物館  
鳥取県

# とっとりさきゅうにゆうもん 鳥取砂丘入門

とっとりさきゅう にほんいちゆうめい さきゅう とっとりさきゅう とくちよう  
鳥取砂丘は、日本一有名な砂丘です。鳥取砂丘には、いったいどのような特徴が  
あるのでしょうか。これからいっしょにみていくことにしましょう。

## とっとりさきゅう 鳥取砂丘とは？

## にほんいち とっとりさきゅう い 日本一の鳥取砂丘とよく言われますが、何が日本一なので しょうか？

とっとりさきゅう せんだいがわ かこう りょうがわ ひろ かいがんさきゅう せんだいがわ うみ  
鳥取砂丘は、千代川の河口の両側に広がる海岸砂丘です。千代川によって海ま

で運び出された砂でつくられています。東西16 km、南北2.4 kmの広さがあり、

ひがしがわ ふくべさきゅう はまさかさきゅう こやまさきゅう すえつねさきゅう  
東側から福部砂丘、浜坂砂丘、湖山砂丘、末恒砂丘の4つに分けられます。そのう

ち浜坂砂丘の一部は、昭和30年に国の天然記念物に指定され、多くの観光客が訪

れる観光砂丘となりました。この観光砂丘が一般に鳥取砂丘とよばれていますが、

ふくべさきゅう ひがしがわ いわどかいがん すえつねさきゅう にし はし はくとかいがん せいしき とっとりさきゅう  
福部砂丘の東側の岩戸海岸から、末恒砂丘の西の端にある白兔海岸までが正式な鳥取砂丘です。

とっとりさきゅう ひろ にほんいち とっとりさきゅう さきゅう ほこ てん つぎ  
鳥取砂丘は、広さが日本一ではありません。鳥取砂丘がほかの砂丘よりも誇れる点は次の3つです。

- ①砂丘本来の姿を残している。(砂が移動し、砂丘地に特有の地形や動植物がみられる。)
- ②砂丘がいつごろできたのかを読みとれる。
- ③高低差の大きい砂丘列が見わたすことができる。

これらのことが、鳥取砂丘を日本一有名にしている理由です。



写真1 砂丘へ登る観光客  
多くの観光客が「馬の背」とよば  
れる砂丘列の頂上をめざして登  
っていく。

**とっとりさきゅう ちけい**  
**鳥取砂丘の地形**

とっとりさきゅう うま せ ふうもん ゆうめい  
**鳥取砂丘といえば「馬の背」や風紋が有名ですが、それだけではありません。**

とっとりさきゅう ふうそく 10m をこえるような強い風が、冬から春にかけておも北西の方向からふきます（北西の季節風）。浜坂砂丘では、その風向きに直交する方向に3つの砂丘列がみられます。北西の方向から順に、第1砂丘列、第2砂丘列、第3砂丘列とよんでいます。そのうち、第2砂丘列は「馬の背」とよばれ、最大傾斜がおおよそ30°、標高は47mあります。



**写真2 3つの砂丘列**  
(県HP写真ライブラリーの航空写真(加筆))

さきゅうちない しゃしん しめ とくちょうてき ちけい み  
砂丘地内では、そのほかにも写真に示すような特徴的な地形が見られます。



**写真3 追後スリパチ**

写真のようにまがった急斜面にかこまれたすり鉢状のくぼ地を、地元では「スリパチ」とよんでいます。この追後スリパチは、高低差20m、斜面の角度はおおよそ30°である。



**写真4 オアシス**

第2砂丘列の南側の低地には、地下水がわき水となって川をつくり、池をつくっている。この場所を地元では「オアシス」とよび、夏には、水がわかれて池はなくなる。



**写真5 風紋(ふうもん)**

風速5m以上の風が吹くと、砂粒が移動しはじめる。そして、風紋とよばれるものが砂丘の表面にできる。風紋は、風とともに風下側にゆっくり移動し、もよも変化する。



**写真6 砂柱(さちゅう)**

風速12m以上の風が吹くと、砂柱とよばれる地形がよくみられる。これは、貝殻や木片などがあると、これらが風の抵抗となり、まわりの砂が削られてできたものである。



**写真7 砂簾(さんれん)**

湿った砂は、強い風によって、砂丘列の尾根付近の風下側に急な斜面をつくる。砂が乾くと、砂は集団で流れくだる。このようにしてできた地形を砂簾とよぶ。

**とっとりさきゅう ちしつ**  
**鳥取砂丘の地質**

とっとりさきゅう すな した なに  
**鳥取砂丘の砂の下には、いったい何があるのでしょうか。**

砂丘地内を歩くと、砂ではなく赤土のような地面が広がっている場所がいくつかあります。これが火山灰の層で、約5万年前に大山が大噴火したときに、風によって運ばれてきたものです。写真9は観光土産物店の裏の崖で、砂の層と火山灰層が重なっているようすがわかります。大山の火山灰層の上下には、ほかの火山灰も堆積しています。これらの火山灰も、およその年代がわかっており、鳥取砂丘がいつごろからできはじめたのかを知る手がかりとなっています。



**写真8 砂丘地内の火山灰**



**写真9 観光土産物店の裏の崖**

火山灰層の上にある砂の層が、現在の砂丘をつくっていて、「新砂丘」とよばれている。

写真で火山灰層とした層が、約5万年前の大山の火山灰である。「大山倉吉軽石」とよばれている。その上下には、九州から飛んできた火山灰や、下の層には鳥根島から飛んできた火山灰が堆積していることが知られている。

火山灰層の下には、古い砂丘があり、「古砂丘」とよばれていて、10万年以上前にできていたと考えられている。

**とっとりさきゅう しょくぶつ**  
**鳥取砂丘の植物**

とっとりさきゅう しょくぶつ  
**鳥取砂丘では、どのような植物がみられるのでしょうか。そのいくつかを紹介します。**



**写真10 コウボウムギ**

4月下旬に花をつける。茎の根元の残骸が「こうぼうの筆」とよばれ、名前の由来になっている。砂丘で多くみられる植物。



**写真11 ハマゴウ**

7月ごろに青紫色の花をつける。黒い実はお灸があり、まぐらに入れたり漢方薬として使われる。



**写真12 ケカモノハシ**

7月ごろ、先端が密着した2つの穂をつける。これをカモのくちばしにそらえたもの。多くのひげ根をもつ。砂丘内に多い。



**写真13 ハマヒルガオ**

4~5月ごろ、アサガオに似たピンク色の花をつける。葉は厚くて光沢がある。白い茎が地中に長くのびる。



**写真14 ハマニガナ**

夏は少なくなるが、春から秋まで直径2~3cmの黄色の花をつける。白い茎が地下を長くはう。



**写真15 コウボウシバ**

鳥取砂丘では、オアシス付近に多く見られる。葉はコウボウムギに似ているが、コウボウムギよりも小型で緑色が濃い。



**写真16 ヒロードテンビキ**

葉にヒロード状の小さな毛が生えている。砂丘に広く分布し、他の植物と交差して生えている。



**写真17 ハマポウフウ**

6~7月頃に花をつける。カリフラワー状に小さな白い花を密生させる。根はまっすぐで地中に深く伸ばしている。

**とっとりさきゅう どうぶつ**  
**鳥取砂丘の動物**

とっとりさきゅう かんきょう い どうぶつ  
**鳥取砂丘には、きびしい環境のなかで生きぬいている動物たちがいます。どのような動物たちがすんでいるのでしょうか。**

ひるま さきゅう ひょうめん おんど たか かんそう すな  
昼間の砂丘の表面は、温度が高く乾燥しやすいので、砂にもぐったり、

ちちゅう すあな どうぶつ  
地中に巣穴をつくったりする動物がみられます。そのような動物に、ウス

バカゲロウ類やイソコモリグモなどがいます。ウスバカゲロウ類の幼虫は

アリジゴクとよばれ、ハマベウスバカゲロウとクロコウスバカゲロウの2種類は、えさをつかまえるための巣穴を作ります。イソコモリグモは、体長

2cmをこえる大きなクモで、巣穴の入り口を糸で補強しています。

そのほかにも、体を砂の色に似せて敵から身を守っている動物たちがいます。カワラハンミョウ

ウヤ、コオロギの仲間のハマスズ、バッタの仲間のヤマトマダラバッタといった動物たちです。

うみ めん すなはま ある ちよっけい あな み すあな  
海に面した砂浜を歩くと、直径3cmほどの穴をいくつも見かけます。スナガニの巣穴です。

やこうせい ひるま すあな  
夜行性で、昼間は巣穴にひそんでいます。



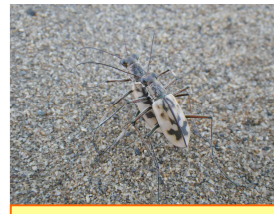
**写真18 ウスバカゲロウ類**

写真はハマベウスバカゲロウの幼虫。巣内では、鳥取砂丘にしかみられない。



**写真19 イソコモリグモ**

砂丘を代表する動物の一つである。巣穴の入り口は夏の日は閉じられる。



**写真20 カワラハンミョウ**

体長が15mmほどで、砂の上をすべるよう走る。